

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	R 6 火山地域における効果的な除石計画策定手法の開発研究委託
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大隅河川国道事務所長 安 藤 詳 平 鹿児島県肝属郡肝付町新富 1 0 1 3 - 1
契 約 締 結 日	令和 6 年 4 月 2 6 日
契約の相手方の氏名及び住所	(大) 九州大学 総長 石橋 達朗
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 1 , 7 1 6 , 0 0 0 -
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 0 -
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備 考	

随意契約理由書

件 名: R6火山地域における効果的な除石計画策定手法の開発研究委託

契約の相手方: 福岡県福岡市西区元岡744

国立大学法人九州大学

総長 石橋 達朗

随意契約とする理由

桜島では土石流が年間に複数回発生することから、従来の土石流・流木処理計画だけでなく、砂防設備の機能を維持するために必要な除石計画を策定することが求められる。特に桜島では、噴火・爆発といった火山活動が継続していることに加え、南岳山頂火口と昭和火口から半径2km以内の地域が立入禁止区域に指定されていることから、除石計画を含めた土石流・流木捕捉計画を立案しなければならず、除石工事の期間を考えると、除石計画は1年もしくは複数年の長期間の流出土砂量を考慮したものでなければならない。そのような流出土砂量を推定する手法として、数値計算が有力なツールとなるが、これまでの既往研究では一連の降雨に伴う土石流に対する数値計算の再現性を明らかにしているが、長期間の地形変化の再現性を評価したものとなっていないことから、効果的な除石計画を立案するためには、数値計算による長期間の地形変化の再現性を明らかにする必要があることと、効果的な除石計画の立案手法の開発が重要である。

このような背景から、2016年から2022年までの野尻川流域・有村川流域・黒神川流域のうち上流域における土砂移動を精度よく再現できる数値計算のパラメータの値とその誤差(再現性)を明らかにすること、また、効果的な除石計画の立案手法を提案することを目的とするものである。

本委託研究は、令和5年度に国土交通省が研究開発の公募を行い、同水管理・国土保全局及び国土技術政策総合研究所に設置された学識経験者等からなる砂防技術評価委員会による新規課題の審査を経て、令和6年3月に採択されたものである。

なお、審査基準、選定結果等については、国土交通省水管理・国土保全局のホームページ等において詳細に公表されている。

よって、本委託は、審議会等により委託先が決定されたものの委託契約に該当するので、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。

(随意契約理由書作成者)

大隅河川国道事務所 工務第一課長